

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童療育支援事業所 なないろ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月13日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所だけではなく法人内全ての職員が共有できるツールを使用し業務改善などの意見を出せるシステムを構築している。	・1つの事業所だけでなく、法人内で利用児童の情報共有を行い、連携した支援が行われている。	・法人内での交流の機会を増やし、児童に対する支援方法等の意見交換のきっかけにしていく。
2	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	・日々些細なことでも自己選択、決定ができる機会を設定し、お子様の意思を尊重しながら支援を行なっている。 ・おやつを自分で選んでもらったり、外出場所なども決めてもらい、自己決定の達成感を得られるよう意識している。 ・支援者が決めずに子どもの意見を聞く、子どもの意見が通る環境を作り心をかけている。	・イベントの立案や、達成できるまでの計画等を子どもたち主体で行ってみることを試みる。 ・日頃の活動の中で、些細な選択であっても子どもに委ねて自己選択の喜びを知ってもらおう。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価は行っておらず、評価結果を業務改善につなげているのは内部の者のみとなっている。	・第三者評価を行っていない。	・現在は取り入れていないが、来年度より取り入れたいと考え検討中。
2			
3			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月12日

事業所名		多機能型児童療育支援事業所なないろ				対象人数（保護者）3人 回答者数 2人 回収 66.6%			
		チェック項目	はい	どちらとも いいない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					・広いスペースが確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1				1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					2		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2						

保護者への説明等

13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			2	・利用開始したばかりなので分からない。	・必要に応じて対応しています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			2		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2	・利用開始したばかりなので分からない。	・父兄会はありませんが、保護者様や、きょうだい児同士が交流できるイベントを行っています。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。			2	・アプリから気軽に質問でき、安心している。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1		1	・ホームページや、レターを楽しみにしている。 ・イベントがある時は事前に知らせてくれ、スケジュールが組みやすいです。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				

非常時等

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				・とても楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				・子供が喜んでいるので満足しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童療育支援事業所 なないろ		公表日	令和8年3月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペースが保てている。 ・法で決められた区域より広いスペースを取り対応している。 ・各部屋が広く作られており十分なスペースが有る。 ・各用途に合わせて考えた作りにしており十分ある。 ・段差や腰掛けのある庭でも安全に活動できるように配慮しながら支援している。 ・適切な人数だと感じる。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・加配人員の配置ができています。 ・毎日プラス人員を配置できるよう工夫している。 ・アルバイトやパート職員の補充も行ない人員確保に努めている。 ・目が行き届く配置数である。 ・全員に対して目が届く人数だと感じる。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの構造上完全なバリアフリーは難しいが事業所内で可能な配慮は行なっている。 ・環境上記権の極力少ない工夫はしている。 ・各自動の特性に応じて必要時には環境調整を行なっている。 ・お子さんの特性やその日の状況に応じてパーテーションやおもちゃの配置を変え、場合によっては視覚的な情報伝達のツールを用いたり工夫している。 ・立ち上がるトイレ等の所に手すりを付けて対応している。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日常用塩素酸水での消毒を行ない、その他掃除もチェック表を用いて行なっている。 ・日々の掃除だけでなくエアコンなど細かな掃除も気にかけて行なっている。 ・気がついたものがこまめに掃除をし清潔を保つ習慣ができています。 ・前年度に、送迎車の掃除の頻度を増やすという意見が出たので掃除や洗車の頻度を増やした。 ・清潔な場所で過ごせるように、毎日掃除を行っている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には各自に合わせた対応ができる環境となっている。 ・その都度用途に合わせた部屋の使い方ができている。 ・よほどのことがない限り各部屋の使い方は現場判断が認められている。 ・人数が多くて落ち着かないお子さんが居る時には、落ち着くまで静かな部屋で過ごすという対応をしている。 	

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議は全職員参加で行なっている。 ・日頃からグループラインにて日々の細かいことも共有し各自の意見を取り入れている。 ・事業所だけではなく法人内全ての職員が共有できるツールを使用し業務改善などの意見を出せるシステムを構築している。 ・定期的に全職員が集まり行っている。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年評価表にご協力いただいている。 ・評価表は全職員で共有し業務改善に努めている。 ・特に評価の低い項目は別途改善につながるよう務めている。 ・保護者の意向に沿った支援を行うように意識している。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議は全職員参加で行なっている。 ・日頃からグループラインにて日々の細かいことも共有し各自の意見を取り入れている。 ・事業所だけではなく法人内全ての職員が共有できるツールを使用し業務改善などの意見を出せるシステムを構築している。 ・経験年数の少ない若手の職員も自分の意見を言いやすい雰囲気になっている。 <p>毎月の職員会で意見を出し合い業務改善に繋げられるように意識している。</p>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行い、業務の改善を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は取り入れていない。 ・来年度より取り入れたいと考え検討中。 ・第三者評価を取り入れていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り研修参加ができるよう務めている。 ・運営側からだけでなく職員の参加したい研修の意見も取り入れる体制を作っている。 ・研修だけでなく意見交換会等にも参加できるよう勤務調整している。 ・研修を受講するだけでなく、資質向上のために資格を自由に取得する機会も設けられている。 ・毎年研修を行い、職員内で共有している。 		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年見直し、作成を行い公表している。 ・ホームページにて公表している。 ・見直しの機会も設け作成している。 ・公表している。 ・できている。 		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・児発管のみでなく他職員の意見も反映した計画作成ができている。 ・実地調査の後モニタリングや計画作成の時期の見直しを行い適切に作成できている。 		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管のみでなく他職員の意見も反映した計画作成ができている。 ・日頃から各職員の意見も取り入れながら支援し検討がされている。 ・必要時には途中での変更なども行ないながら対応している。 ・直接支援員からみたお子さんの課題やニーズも支援計画に取り入れている。 ・支援に携わる職員全員で共有して支援をおこなっている。 		

適切な支援の提供

14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・業務中いつでも確認できるツールを使用している。 ・全職員が確認できる体制が整っている。 ・共有できている。 ・全職員が共通理解のもと個別支援計画に沿った支援を行っている。 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・国の標準化された様式を使用している。 ・強度行動障害児童など個別支援の必要な児童に対しても適切な様式を使用し行動観察が出来ている。 ・5領域に沿った支援を心がけている。 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域に沿った支援を心がけている。 ・日々の様子を見て具体的な内容を心がけている。 ・出来ている。 ・適切な支援内容が設定されていると感じる。 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・会を行ない見直しや検討も行なっている ・できている。 ・全職員で行っている。 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休み等は2つの事業所で相談し毎日の活動を考えている。 ・同じ曜日で活動が固定しないよう考えている。 ・児童の意見も取り入れ活動内容を決めている。 ・夏休みなどの長期休暇期間には、制作や外出、プール、調理などいろんな活動を行っている。また活動が固定化しないようにイベントの情報収集を定期的に行っている。 ・お子さんの意見を取り入れながら行っている。 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・主に集団活動だが必要時には個別対応も行なっている。 ・各自の状況に合わせて対応している。 ・両方組み合わせた活動を行っている。 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず開始前ではないが随時LINE等で情報共有を行ないながら支援している。 ・2事業所の連携も取れている。 ・必ず打ち合わせを行っているわけではないが各自がその日の役割を理解して動いていると思う。突発的に何か起こっても、周りの職員がフォローしてくれる。 <p>事前に話し合いスムーズに支援が出来るように打ち合わせをしている。</p>	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず終了時ではないが随時LINE等で情報共有を行ないながら支援している。 ・2事業所の連携も取れている。 ・送迎職員が保護者から聞いた情報もその日のうちに共有されている。 ・お子さんに変わったことがあれば必ず情報共有できている。また、日々の業務の中でうまくいったこと、反対にうまくいかなかったことを振り返り相談しやすい環境づくりができていると感じる。 <p>気付いた事があれば職員間で共有している。</p>	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> 必ず記録は取っている。 必要時にはその都度検討や改善をしている。 多職種の職員が記録を取れるようツールを使用している。 支援の検証・改善につなげるため、記録を適切に行っている。 記録をしっかりとり、どのような対応をすれば上手く支援出来たか等を記録し共有している。		
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> 必要事毎に見直しができている。 各職員の意見も聞いたモニタリングが出来ている。 適切に行えていると思う。 		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> 会議には必ず参加している。 児発管だけでなく管理者の参加も多い。 会議の収集のない相談支援事業所もあるが保育園等との連携は心がけている。 		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要時には連携するよう務めている。 体制は整っている。 保育園の先生が見に来てくれる機会もあり連携を取る体制はある。 必要があれば支援できる環境が整っている。 	・児童発達支援センターや地域医療との連携体制は整っていないと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 行なうよう務めている。 常に情報共有を心がけ支援に当たっている。 保育園の先生が見に来てくれる機会もあり連携を取る体制はある。 統一した支援を行うために支援内容の情報共有を行っている。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 可能であれば保育園と学校の引き継ぎ会への参加もしている。 情報共有が出来ると体制は整えている。 出来ている。 就学時の移行の際には担当者会への参加や情報提供を行っている。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 必要時には情報交換や意見を求めるが頻度は少ない。 出来る体制は整えている。 体制は整っているが市役所に聞き完結することが多くあまり連携は取れていない。 	・行っていない。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> 地域参加のイベント等も行ないお知らせもしているが実際の参加は少ない。 活動する機会は設けているが頻度は少ない。 地域の児童の遊び場としての受け入れも出来る体制を取っている。 利用中に地域のイベント参加が可能な児童は積極的に参加し交流を図るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どもたちとの交流の機会を設けることができていない。 今後取り入れていけたら良いなと感じる。 	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・日々努めている。 ・情報共有は常に意識し行なっている。 ・利用毎に共有するシステムが出来ている。 ・保護者からいただいた情報を全職員で共有している。 ・お子さんの発達の状況を理解することを意識している。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族通しが交流を図れる機会も年に数回だが設けている。 ・研修等のお知らせも行なうよう務めている。 ・情報共有は常に意識している。 ・保護者通しの共有で助けていただける場面もありありがたく思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がペアレントトレーニングの研修を受講したことはあるが、実際に施設で家族参加型の研修の機会を設けるまでに至っていない。 ・今後取り入れていけたら良いなど感じる。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時に行なっている。 ・必要時には閲覧できるよう誰もが見える場所に提示している。 ・ホームページでも確認ができるようにしている。 ・契約時に必ず説明をしている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・設けている。 ・保護者の意見だけでなく児童の意見も取り入れるなど柔軟に対応している。 ・取り入れて作成している。 ・定期的に行い、保護者とお子さん両方の意向を確認している。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・更新毎に行なっている。 ・出来ている。 ・その都度同意を得ている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には時間外でも対応する体制を整えている。 ・家庭支援も意識して日々支援している ・できている。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回保護者も参加し交流する機会を設けている。 ・兄弟児童や保護者が参加できるイベントを開催している。 ・保護者会等はないが、保護者の方も参加できるようなイベントを開催し、保護者同士で交流できるような場を設けている。 ・保護者や利用者の兄弟の参加型のイベントを行い、交流を図っている。 	・父母の会はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応を心がけている。 ・体制整備は出来ている。 ・管理者が休みの日でも迅速に対応するよう務めている。 ・相談や申し入れがあった際にはいち職員が判断して答えるのではなく、全体に周知したうえで迅速に回答するよう心がけている。 ・丁寧に対応する事を意識している。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各事業所の通信を発行し日々の活動をお知らせしている。 ・ホームページも適宜配信している。 ・HUGも利用し行なっている。 ・去年よりもHPの更新頻度を増やし、お便りで載せられなかったことをより詳しく伝えられるように心がけている。 ・毎月発信を行っている。 	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等も受け十分に留意し対応している。 ・全職員共通理解で留意している。 ・十分気をつけて取り扱っている。 ・個人情報の取り扱いには十分気をつけている。 		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮している。 ・電話だけでなく文章でもやり取りが出来るツールを使用している。 ・複数の手段を用いている。 ・お子さんの特性に応じた情報伝達ツールを用いている。 ・お子さんのやりたいこと等本人の意思を尊重した支援を行うように心がけている。 		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に地域へのお知らせも行なっている。 ・特に防災活動については地域の方にも参加を募っているが機会は少ない。 ・務めている。 	・地域住民が参加できるような行事は開催できなかった。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・誰もが見える場所に掲示し周知に努めている。 ・マニュアル作成公開は行なっている。 ・定期的に行っている。 		
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回行なっている。 ・策定している。 ・見直しや検討も行なっている。 ・研修等にも参加している。 ・年に数回、火災や地震の避難訓練、備蓄食体験、防災グッズづくりなどいろんなことを想定した訓練をおこなっている。 ・避難場所へたどり着くまでにどれくらいかかったか時間を計っている。 		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・利用毎に確認できるツールを使用している。 ・服薬は管理表を作成し保護者にも共有している。 ・している。 ・服薬については毎回保護者に依頼書を書いてもらっている。また服薬時は必ず職員が見守りを行っている。服薬のチェックも複数の職員で行っている。 		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がアレルギーを把握できるようシステム構築をしている。 ・対応している。 ・保護者にも協力を仰ぎ対応できる体制は整えている。 ・アレルギーの情報は事前に周知し、お子さんがおやつを選ぶときや昼食購入時には気をつけている。 		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練や研修は可能な限り行なっている。 ・出来ている。 ・日々の支援の中でも意識して活動できるよう務めている。 ・安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。 ・安全第一で支援を行うように心がけている。 		

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやHUGにて周知できる体制は整っている。 ・出来ている。 ・連携できるよう務めている。 ・安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて周知に努めている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には全職員で意見を出し合い再発防止に努めている。 ・2事業所共通し情報共有が出来る体制を取っている。 ・出来ている。 ・関連事例があった際には、ともに、なないろ両施設間の職員で共有している。 ・全職員で話し合い意見を出し合っている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、身体拘束に関しては研修の機会を多く持ち対応している。 ・事業所以外での虐待案件等もないか毎月のように全職員で会を開催している。 ・特に意識して取り組んでいる。 ・虐待防止委員会の開催だけでなく、非常勤職員を含めた全職員対象の研修を実施した。 ・委員会を作り、研修等を行っている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、身体拘束に関しては研修の機会を多く持ち対応している。 ・3要件を満たし行なった場蒼にはその都度保護者に報告し同意を得ている。 ・あらかじめ対象となりうる児童には保護者説明をし同意を得ているが、そのような機会は緊急性を伴う時以外発生していない。 ・身体拘束委員会の開催だけでなく、非常勤職員を含めた全職員対象の研修を実施した。 ・事前に保護者に伝え、身体拘束を行った場合は記録に載せている。 	